

平成31年3月期 第1四半期

決算・会社説明会資料

株式会社インターワークス（6032）

1

平成31年3月期 第1四半期業績概要

2

平成31年3月期 第1四半期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第2四半期の足元の状況

4

成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出

1-1 第1四半期業績概要（全体）

第1四半期は増収となったが、当期は、成長投資と構造改革を第1四半期に先行的に実施したことにより減益。よって、概ね計画通りの業績。

単位：百万円	平成31年3月期 〈通期計画〉	平成31年3月期 〈第1四半期実績〉	平成30年3月期 〈第1四半期実績〉	対前年比
売上高	4,800	1,042	1,008	103.4%
営業利益	810	115	163	70.5%
経常利益	810	115	165	70.0%
当期純利益	560	76	111	68.9%

1-2 第1四半期業績概要（各事業）

エグゼクティブサマリ

M & S 事業

主力の工場ワークスは前期比**109%**と堅調な増収。工場ワークス単月の売上は2Q中には**1.7億円**に届き、**2Q対比でも前期比110%**の見込み。1Q投資により下期には売上月間**2億円**が見える状態。メディアは成長戦略に沿った工場タイムズのリニューアルに加え、新メディアであるドライバータイムズの立ち上げ投資を実施。エンジニアの積極採用も推進。

人材紹介事業

増員したコンサルタントが順調に成長。生産性向上により、成約単価を維持しつつ成約件数が前年比**126%**となる。6月の売上計上分の一部が7月にスライドしたが前年比で**売上高132%**、**営業利益489%**を達成。引き続きコンサルタントの増員と戦力化を行い、KPIマネジメントとスモールチーム戦略を推進し、下期から成約件数を前年比**1.5倍**のペースで進める。

採用支援事業

事業構造改革を推し進め、従来型の採用アウトソーシング事業の売上を戦略的に減らし、HR-Technologyサービスの受注に注力した結果、HR-Technologyサービスの受注金額は目標に対し**232%**の進捗。従来型の採用アウトソーシング事業のコスト・リストラを実施したことで1Qは減益だが、利益の大半を稼ぎ出す下期に向けての仕込みは順調。通期で目標達成予定。

1

平成31年3月期 第1四半期業績概要

2

平成31年3月期 第1四半期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第2四半期の足元の状況

4

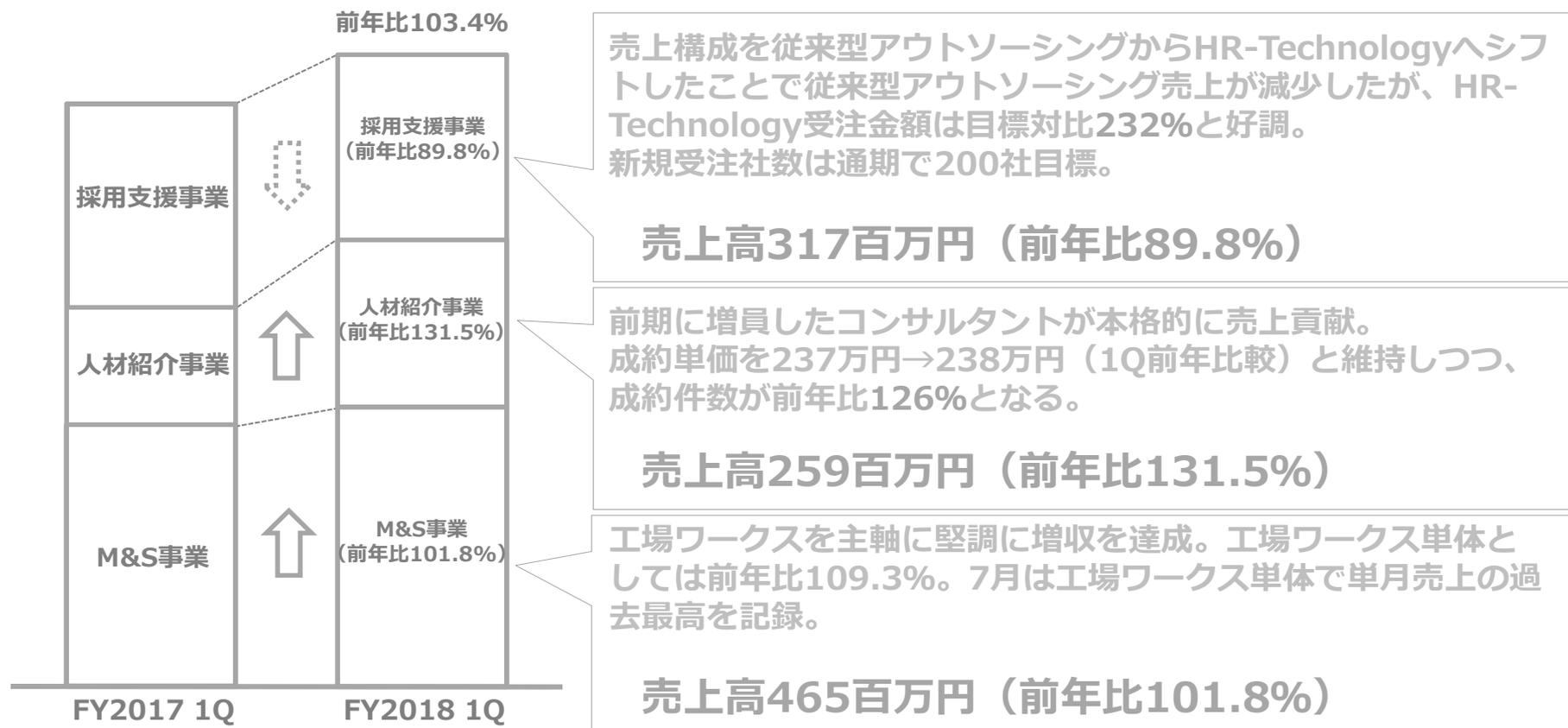
成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出

2-1 第1四半期セグメント別比較（売上高）

第1四半期は、全社で34百万円の増収。

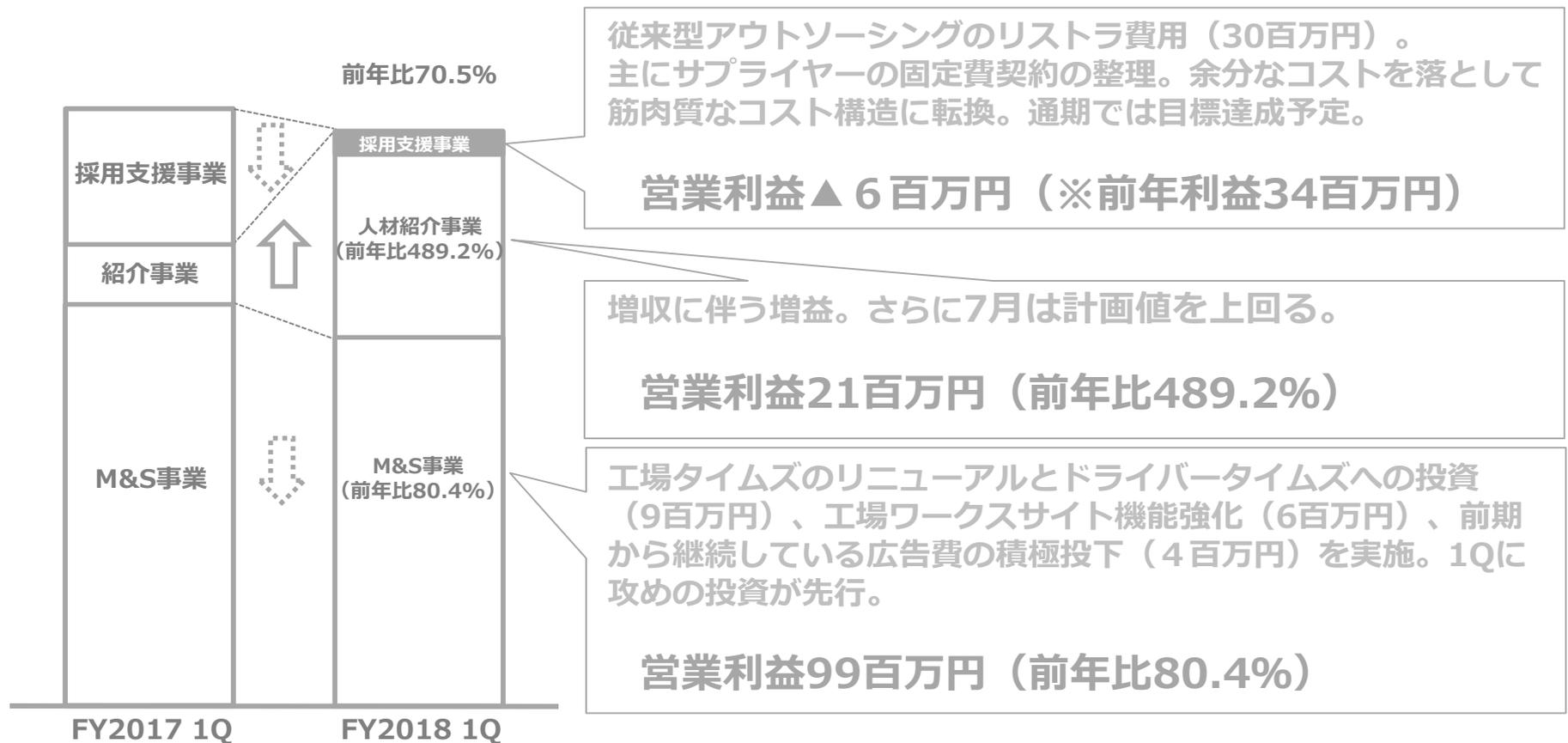
M&S事業は工場ワークスを中心に堅実な成長。人材紹介事業は前年比131.5%。

採用支援事業は、HR-Technologyへの事業転換を急ピッチで進め減収。



2-2 第1四半期セグメント別比較（営業利益）

M&S事業は新メディア立ち上げと工場ワークスサイト機能強化の投資を実施。紹介事業は増収に伴い大幅な増益。採用支援事業は、事業構造転換とリストラを大きく進めた結果、一時的なコスト増によって減益。全社で48百万円の減益。



1

平成31年3月期 第1四半期業績概要

2

平成31年3月期 第1四半期セグメント別比較

3

平成31年3月期 第2四半期の足元の状況

4

成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出

3 第2四半期の足元の状況（7月度の立ち上がり）

M&S事業

7月に主力の工場ワークスが過去最高の売上を記録したことに伴い、M&S事業部全体の売上も過去最高となる。
2Qも1Qに続き堅調に推移。

人材紹介事業

7月に月間成約金額が過去最高を記録。8月の成約件数は7月の成約件数を更に上回る見通しであり、2Q内に成約件数、成約金額ともに過去最高を更新する予定。
通期での売上、利益目標達成に向けて堅調に推移。

採用支援事業

HR-Technology商材の受注は7月も引き続き好調。
従来型アウトソーシング事業でのリストラを終えた6月以降は利益体質に転換。通期で売上、利益目標ともに達成見込み。

1

平成31年3月期 第1四半期業績概要

2

平成31年3月期 第1四半期セグメント別比較

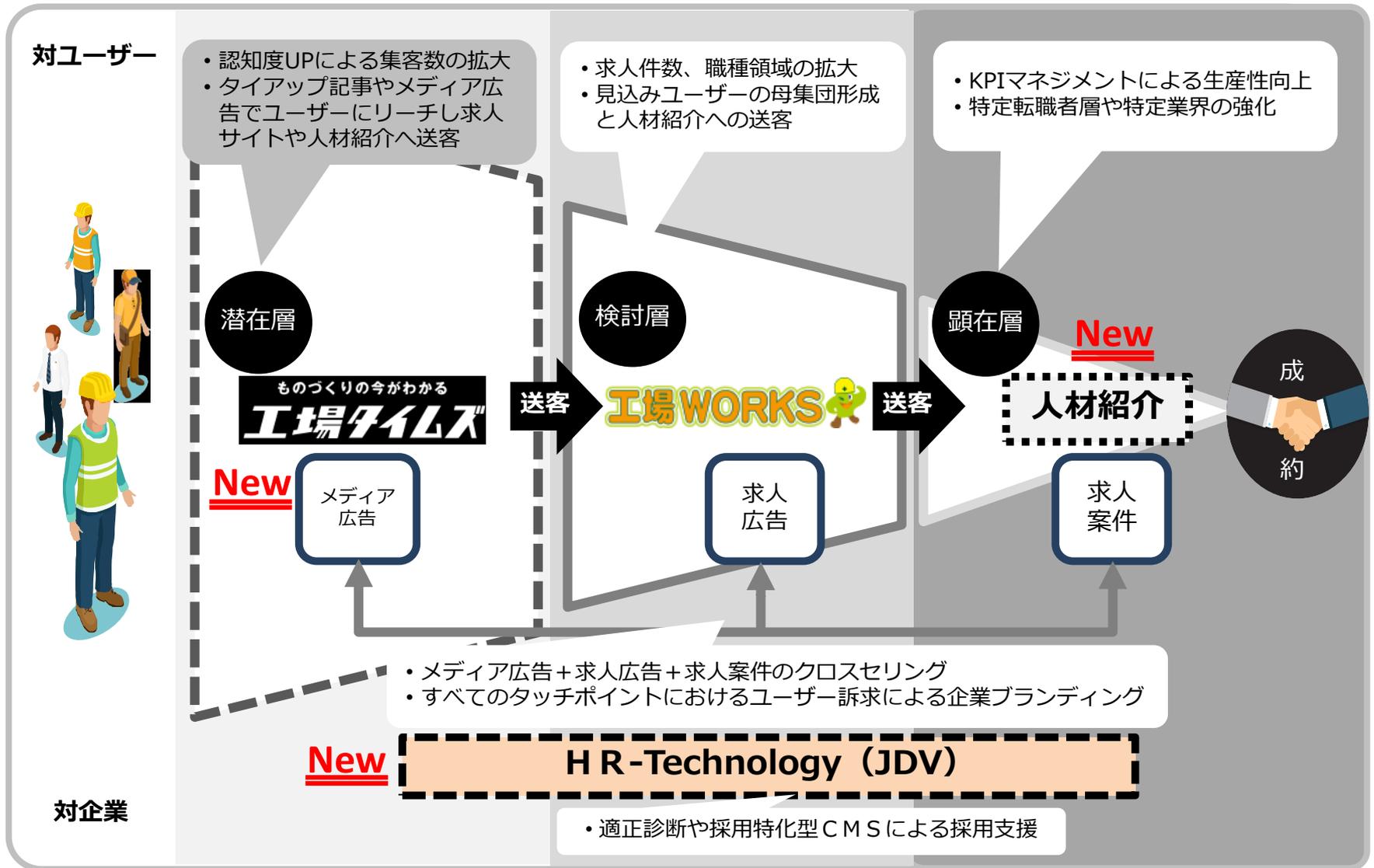
3

平成31年3月期 第2四半期の足元の状況

4

成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出

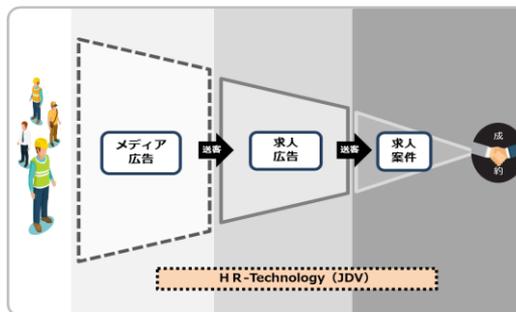
4-1 成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出



4-2 成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出

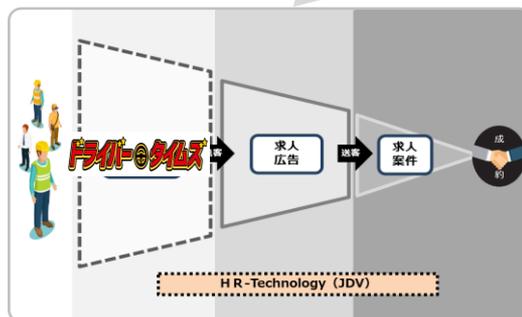
工場ワーカー以外のワーカー職種にターゲットを拡大

製造業

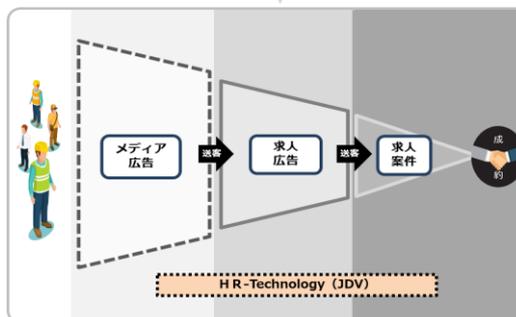


大手人材会社が参入していない領域に特化し展開
ワーカー層に人材サービスを広く浸透させ慢性的な人手不足を解消する

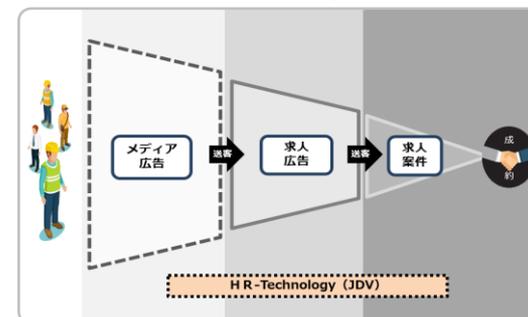
物流業



スタートアップエンジニア



●●業



4-3 成長戦略のポイント：事業横断型の新事業の創出

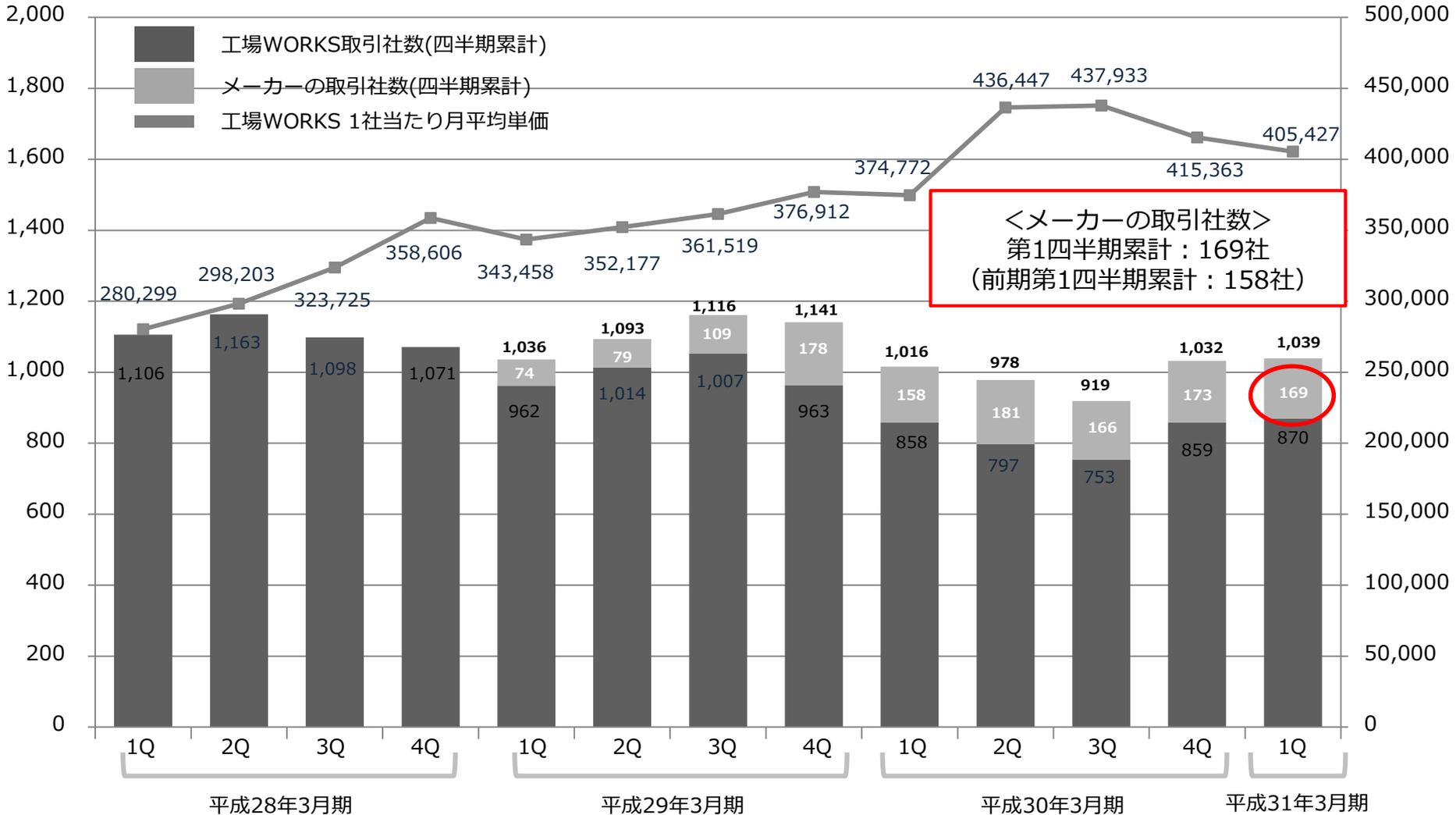
製造業以外のワーカー層のニーズの高まりに対応したメディア展開



<参考> 工場WORKS 1社あたり単価/取引社数

単位：社

単位：円



<メーカーの取引社数>
 第1四半期累計：169社
 (前期第1四半期累計：158社)

この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2018年8月1日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性がございます。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。